

3年間で平均給与を増やした企業

順位	社名	業容	平均給与の増加率	平均給与額
1	ソケット	データサービス	56.4%	697.2万円
2	北の達人コーポレーション	健康食品・化粧品販売	42.7	531.7
3	サイバーダイン	医療用などの装着型ロボット	42.0	626.6
4	テセック	半導体検査装置開発	37.0	706.7
5	マルマエ	精密部品加工	35.1	621.6
6	インターアクション	光源装置	32.9	751.0
7	リーダー電子	電子計測器製造	27.9	646.4
8	フォーバル・リアルストレート	通信OA機器販売	27.2	647.6
9	オリジナル設計	上下水道建設コンサル	26.7	687.8
10	アルファポリス	ネット小説などの出版	26.6	556.6



2019年
4月23日

火曜日

《2面、11面》

AI・医療の給与上昇

過去3年 中堅、専門人材を積極採用

**NEXT
1000**

技術力に強みを持つ中堅企業が、専門能力を持つ人材を引きつけようとして給与水準を高めている。日本経済新聞が売上高100億円以下の上場企業を対象に平均給与の3年間の伸び率を調べたところ、上位には人工知能(AI)や医療関連などで高い技術を持つ企業が並ん

だ。新卒・中途を問わず、専門人材を積極採用したことが全体の平均給与を引き上げた。売上高100億円以下の中堅上場企業「NEXT1000」のうち、従業員50人以上の563社を対象とした。直近決算期と3年前の従業員平均給与を比べたところ、伸び率が最も大きいのは音楽・映像などのデータベースを基盤とした検索サービスを手がけるソケットの56・4%。人間の感情を分析するAIの開発を加速するため、技術人

材への投資を増やしている。企業3年間の平均給与伸び率は3・12%で、日経500種平均株価を構成する主要500社の1・27%を上回った。とくに上位の20社は、3年間の平均給与増加率がいずれも20%を超えた。半導体検査装置を開発するテセックや、CMS(相補性金属酸化膜半導体)センサー検査装置を手がけるインターアクションなどは平均給与が700万円を超える。大企業に匹敵する水準で、実力を持つ研究者や技術者を引きつけている。

材への投資を増やしている。企業3年間の平均給与伸び率は3・12%で、日経500種平均株価を構成する主要500社の1・27%を上回った。とくに上位の20社は、3年間の平均給与増加率がいずれも20%を超えた。半導体検査装置を開発するテセックや、CMS(相補性金属酸化膜半導体)センサー検査装置を手がけるインターアクションなどは平均給与が700万円を超える。大企業に匹敵する水準で、実力を持つ研究者や技術者を引きつけている。

許諾番号 30069207 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。

日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。